



YANMAR

Information

2021年1月18日
ヤンマーホールディングス株式会社

ヤンマーがデザインした日本酒「沢の鶴 X02」が ブラジルのジャパン・ハウス サンパウロで開催の「パッケージング： 日本の現代デザイン」展に展示



<「沢の鶴 X02(エクスゼロツー)」Designed by YANMAR>

ヤンマーがデザインした日本酒「沢の鶴 X02」が、作品のデザイン性や創造性を競う「日本パッケージデザイン大賞 2021」(主催:公益社団法人日本パッケージデザイン協会)において入選し、ブラジルのジャパン・ハウス サンパウロで開催される「パッケージング:日本の現代デザイン」展の展示作品として選出されました。同展示会は2021年1月19日から3月14日までの会期で、日本の対外発信拠点として設立されたジャパン・ハウス サンパウロにて開催されます。

「沢の鶴 X02」は、「日本の米作り、日本の農業を変えたい」という熱い思いを持つ沢の鶴とヤンマーがタッグを組み、「新しい酒米を作る」というプロジェクトから生まれた純米大吟醸酒です。

今までにない全く新しい酒米を使用するとともに、ヤンマーの ICT 技術を活用し、生育情報や収穫情報などのトレーサビリティを徹底管理しています。商品コンセプトである「いつ、どこで、だれが、すべてが見える進化の酒造り」をパッケージに表現し、これらの情報をラベル中央に配置した QR コードから簡単に知ることができます。

■「パッケージング:日本の現代デザイン」展について

日 程 :2021年1月19日(火)～3月14日(日)

会 場 :ジャパン・ハウス サンパウロ / 2F

主 催 :ジャパン・ハウス サンパウロ

後 援 :日本パッケージデザイン協会

※日程が変更になる場合がございます。詳しくは、ホームページでご確認ください。

<https://www.japanhousesp.com.br/ja/exposicao/embalagens/>

本展示会が開催されるジャパン・ハウスは、サンパウロ、ロンドン、ロサンゼルス の 3 都市にそれぞれ事業拠点を開設し、展示スペース、シアター機能のある多目的スペース、物販、飲食、書籍/web/カフェなどの活動を融合させ、伝統の未来、大衆文化の熱、ハイテクノロジーの実力、多様な食の魅力等を具体的に紹介・提示し、これまで必ずしも日本に関心を持っていなかった人々も含め、幅広い層に向けて活動しています。

そのひとつであるジャパン・ハウス サンパウロは、2017年4月に開館。2020年2月には累計来館者数200万人を突破し、ブラジル・サンパウロ市の中心街にあるパウリスタ通りの主要な施設として定着しています。

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com